

ふれあい通信



長南町長
平野 貞夫

先日、ある方が訪ねてきました。「町長、渡邊辰五郎記念館の建設はダメだよ。会う人のほとんどが反対しているよ。ここは考え直さないと！」

（仮称）渡邊辰五郎記念館事業については、地方創生の総合戦略事業の一つとして、国の助成を受けながら進めているもので、昨年度に基本構想を策定し、今年度は基本計画を策定しています。現在、（仮称）渡邊辰五郎記念館基本計画検討委員会において、検討をしていただいているところですが、様々な情報が飛び交い、不評を買っているようです。

このことについては、5月号のふれあい通信でも述べましたが、私は、教育界の偉人で、町の誇りでもある辰五郎氏のことは、多くの方々に知つてもらいたいとは思っていますが、資料を展示して町

内外から観光客を呼び込もうなんて毛頭考えていないところです。結果としてそういうなれば良いとは思うのですが！

私は、衰退する街中に、住民が集い憩える拠点となる施設をつくつて人の流れをつくり、かつての活気と賑わいを取り戻し、町の発展に繋げていきたいと思っています。恐らく、事業の名称が名称だけに、様々な憶測を生んでいるようですが、その名称については、検討委員会でも議論をしていただいています。

今後、基本計画の中で、施設の規模等、基本的な事業内容を示していくことになりますが、今後も町民の皆様のご意見をいただきながら、本事業を進めてまいりたいと考えていますので、よろしくお願いします。

SADA[◎]
No.25